

妊娠、睡眠障害、妊娠合併症、睡眠時無呼吸、睡眠時低酸素症、イビキ、子癇前症、妊娠高血圧.....1

睡眠は可逆的な休止状態で外的刺激に対する感受性は低下するが身体機能は維持される。旧の睡眠時間が7～9時間のものでは罹病率や死亡率は最も低下すると報告されている。睡眠障害は妊娠高血圧、妊娠糖尿病、子癇前症、胎児発育遅延、早産あるいは死産などと相関する。睡眠は覚醒の間に蓄積された脳における代謝産物を排除する上で重要な役割を演じている。脳には老廃物を排泄するためのシステムであるグリンパティックというシステムが存在する。人々の生活パターンが変わり8時間の連続睡眠を取るようになったが、過去100年間に短縮してきている。

妊娠中にはイビキ、不十分な睡眠、不眠、呼吸障害などに伴う睡眠障害を認める頻度は高くなる。妊娠に伴い上部気道が狭くなり、血管は充血し粘膜の水腫や肺容量の低下が引き起こされる。睡眠時呼吸障害はいろいろな方法によって診断されるが睡眠ポリグラフが最も精度の高い方法である。本号において睡眠障害は妊娠糖尿病のリスクを上昇させ、その補正オッズ比は1.86と報告されている。睡眠時間の短縮はインシュリン感受性を低下させると報告されている。妊婦において50g糖負荷試験後のグルコース濃度は睡眠時間1時間短縮あたり4%上昇する。妊娠時のイビキに伴って妊娠高血圧や子癇前症のリスクに有意な上昇をみたと報告されている。睡眠障害は血管における炎症反応を促進しそれが子癇前症を誘発する因子となっている可能性がある。睡眠時呼吸障害に適切に対応することによって母児の健康状態の改善をはかることができる。

A role for sleep disorders in pregnancy complications: challenges and opportunities

Roberto Romero, M. Safwan Badr

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):3-11

【文献番号】 o12301 (産科関連事項)

性同一性障害、性的違和症、性転換手術、診断基準、ホルモン療法、モニタリング.....4

性別違和症(旧性同一性障害)は自己の認識する性と本来の性と不一致によって引き起こされる苦痛とされている。アメリカ精神医学会が発表したDSMに従って診断し、精神療法、ホルモン療法、性転換手術を含め適切な対応が必要である。リスクの高い行動や長期にわたるホルモン療法のため、性転換者においては異なったヘルスケアが必要となり、婦人科医にも大きな役割が求められる。婦人科医は性転換者の健康に関わる基本的な問題に関する知識を深めておく必要がある。

Care of the transgender patient: the role of the gynecologist

Cecile A. Unger

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):16-26

【文献番号】 r12400 (ホルモン療法、生殖医療、リスク、発癌、合併症、栓友病、性同一性障害)

過多月経、粘膜下筋腫、子宮鏡、超音波検査、貧血、出血量評価チャート.....8

粘膜下筋腫はヘモグロビンの低下や貧血のリスクと相関するが、自己報告による出血のスコアとは相関しなかった。子宮鏡で粘膜下筋腫と診断されたものは超音波検査で粘膜下筋腫と診断されたものよりヘモグロビンは有意に低下し、貧血をみるリスクに有意な上昇が認められた。このような差異が文献的に報告されている粘膜下筋腫をめぐるいろいろな研究結果の不一致を説明する理由となるのではないかと思われる。

Submucosal fibroids and the relation to heavy menstrual bleeding and anemia

Kanchan Puri, Abimbola O. Famuyide, Patricia J. Erwin, Elizabeth A. Stewart, Shannon K. Laughlin-Tommaso

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):38.e1-38.e7

【文献番号】 r11100 (子宮筋腫、子宮腫瘍、子宮腺筋症)

外陰部痛、人種、医療、有病率.....10

一定のスクリーニング法を用いて調べたところ40歳までの女性における累積外陰部痛発現率は高く7～8%であることが明らかとなった。クリニックを受診したとしても慢性外陰部痛のための治療を受ける尤度を上昇させることにはならないという結果が得られた。

Prevalence of symptoms consistent with a diagnosis of vulvodinia: population-based estimates from 2 geographic regions

Bernard L. Harlow, Christine G. Kunitz, Ruby H.N. Nguyen, Sarah A. Rydell, Rachel M. Turner, Richard F. MacLehose

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):40.e1-40.e8

【文献番号】 g01600 (腔前庭炎、外陰部痛、その他の外陰腔疾患)

生殖、避妊、家族計画、家庭内暴力、生殖に関わる強制12

一般の産婦人科のケアを求める女性において男性パートナーから生殖に関わる強制を受けている場合には暴力を受ける頻度は高いという調査結果が得られた。ヘルスケア提供者はルーチンに生殖年齢の女性においては生殖に関わる強制の有無とパートナーからの暴力の有無を調べ、それぞれの女性の状況に従って家族計画などについて話し合い妥当な選択肢を勧める必要がある。

Reproductive coercion and co-occurring intimate partner violence in obstetrics and gynecology patients
Lindsay E. Clark, Rebecca H. Allen, Vinita Goyal, Christina Raker, Amy S. Gottlieb
Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):42.e1-42.e8

【文献番号】 o12100 (虐待、暴力、薬物濫用、妊娠、外傷、自動車事故)

臨床ガイドライン、定性的研究、女性保健16

女性のヘルスケアのスクリーニングに関して極めて多数の定性的研究結果が報告されているがそれが臨床ガイドラインに取り上げられているものは極めて少数であった。臨床において定性的研究の知識を取り入れるためには、なぜ定性的研究とガイドラインの間に連続性が認められないかということについて調査してみる必要がある。

Influence of qualitative research on women's health screening guidelines
Anna Maria Abadir, Ariella Lang, Talia Klein, Haim Arie Abenheim
Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):44.e1-44.e6

【文献番号】 m01200 (医療全般、ヘルスケアシステム、健康保険)

17-OHPC、調剤、効力、無菌状態、病原菌、不純物18

アメリカの15か所の調剤薬局から提供された17-OHPCの調合された薬剤を対象に濃度、無菌状態、病原性、不純物などを調べたところ、安全基準を満たし問題がないという結果が得られた。

Quality assessment of compounded 17-hydroxyprogesterone caproate
Justine Chang, Yang Zhao, Wenchen Zhao, Raman Venkataramanan, Steve N. Caritis, Obstetrical-Fetal Pharmacology Research Units Network
Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):47.e1-47.e7

【文献番号】 r14200 (生殖医療関連事項)

睡眠時呼吸障害、睡眠時無呼吸、産科的合併症、妊娠糖尿病、妊娠高血圧、低出生体重児20

今まで報告されている研究によると母体の睡眠時呼吸障害は背景となる因子で補正したところ妊娠高血圧と妊娠糖尿病のリスクの上昇と相関するという結果が得られた。母体の睡眠時呼吸障害と産科的有害事象との関係を明らかにするためにはさらに大規模な前方視的コホート研究が必要である。

Maternal sleep-disordered breathing and adverse pregnancy outcomes: a systematic review and metaanalysis
Sushmita Pamidi, Lancelot M. Pinto, Isabelle Marc, Andrea Benedetti, Kevin Schwartzman, R. John Kimoff
Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):52.e1-52.e14

【文献番号】 o12301 (産科関連事項)

頸管長、胎児呼吸運動、胎児フィブロネクチン、早産24

症候性の患者において胎児フィブロネクチン、胎児呼吸運動の欠如および頸管長は48時間以内の出産および7日以内の出産の予測因子となるという結果が得られた。胎児呼吸運動の欠如は早産を予測する最も優れた検査となるのではないかと思われる。

The short-term prediction of preterm birth: a systematic review and diagnostic metaanalysis
Amy B. Boots, Luis Sanchez-Ramos, Dawn M. Bowers, Andrew M. Kaunitz, Javier Zamora, Peter Schlattmann
Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):54.e1-54.e10

【文献番号】 o01300 (早産、切迫早産、子宮収縮抑制、診断、治療、リスク因子、モニタリング、ACS、ステロイド)

misoprostol、経口投与、経時的投与量調節法、臨床的有用性、分娩誘発26

分娩誘発のために misoprostol を投与する際に、1時間ごとに反応性をみながら投与量を調節する方法は効果的で dinoprostone vaginal insert の安全な代替法となるものと思われる。

Randomized clinical trial between hourly titrated oral misoprostol and vaginal dinoprostone for induction of labor
Abdulrahim A. Rouzi, Sharifa Alsibiani, Nisma Mansouri, Nawal Alsinani, Khalid Darhouse
Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):56.e1-56.e6

【文献番号】 o04500 (頸管熟化、分娩誘発、自然陣痛、陣痛パターン、陣痛促進)

吸引分娩、会陰裂傷、肛門括約筋、第3度裂傷、リスク因子、発現頻度28

硬膜外麻酔は産科的肛門括約筋損傷に予防的効果が認められる。吸引分娩を試みる際に正中側切開は肛門括約筋の損傷に予防的に作用するが、吸引分娩そのものはリスクを上昇させる。

Modifiable risk factors of obstetric anal sphincter injury in primiparous women: a population-based cohort study

Hanna Jango, Jens Langhoff-Roos, Susanne Rosthoj, Abalone Sakse

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):59.e1-59.e6

【文献番号】 o05500 (頰管裂傷、会陰裂傷、母体損傷、QOL)

胎児切迫仮死、臍帯血、血流、ドップラー検査31

臍帯静脈血の血流が最も低いと判定された胎児群においては分娩中に胎児に問題があると診断されるリスクは上昇する。臍帯静脈血の血流の測定は分娩前にリスクを区分する上で有用な指標となる。

Umbilical venous flow rate in term fetuses: can variations in flow predict intrapartum compromise?

Tomas Prior, Edward Mullins, Phillip Bennett, Sailesh Kumar

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):61.e1-61.e8

【文献番号】 o04600 (胎児心拍モニタリング、血液ガス、血流動態、胎児切迫仮死、オキシメトリー)

子癇前症、胎盤、組織所見、血管病変、妊娠週数33

妊娠 34 週未満で子癇前症を発症した女性の胎盤は正常産の時期で認められた子癇前症の女性の胎盤とは異なっている。前者においては血管の異常を伴い胎盤機能不全と一致する所見が認められることが多い。このような所見は子癇前症は診断される妊娠週数によって異なった病態の疾患と考えてもよいのではないかとする仮説を支持するものである。

Placental pathology suggesting that preeclampsia is more than one disease

David B. Nelson, Mandolin S. Ziadie, Donald D. McIntire, Beverly B. Rogers, Kenneth J. Leveno

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):66.e1-66.e7

【文献番号】 o02200 (妊娠中毒症、妊娠高血圧、腎機能障害、胎盤剥離、子癇、リスク因子)

sFLT-1、トロポブラスト、血管新生因子、癒着胎盤、穿通胎盤35

sFLT-1 蛋白の発現のレベルの低下は癒着胎盤などの浸潤性胎盤と相関し、sFLT-1は胎盤の浸潤の調節に重要な役割を演じていることが示唆された。

Does soluble fms-like tyrosine kinase-1 regulate placental invasion? Insight from the invasive placenta

Kerry McMahon, S. Ananth Karumanchi, Isaac E. Stillman, Peter Cummings, Dorothy Patton, Thomas Easterling

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):68.e1-68.e4

【文献番号】 o04200 (前置胎盤、癒着胎盤、常位胎盤早期剥離、臍帯異常、胎盤機能不全、前置血管)

卵巣癌、早期癌、検知率、MIA、CA 125-II、ACOGガイドライン36

早期の卵巣悪性腫瘍を検知する感度は multivariate index assay (MIA) と臨床的評価を併用することによって臨床的評価単独、CA 125-II あるいは ACOG ガイドライン変法よりも閉経後の女性を含めても高い値が得られた。

Clinical performance of a multivariate index assay for detecting early-stage ovarian cancer

Teresa C. Longoria, Frederick R. Ueland, Zhen Zhang, Daniel W. Chan, Alan Smith, Eric T. Fung, Donald G. Munroe, Robert E. Bristow

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):78.e1-78.e9

【文献番号】 g04120 (悪性卵巣腫瘍)

子宮筋腫、腹膜子宮筋腫症、子宮摘出術、大網切除術41

46 歳の 4 経妊 4 経産の女性が症候性の子宮筋腫のために子宮摘出術を受けた。手術の終了時に多数の腫瘍が大網に認められた。凍結標本によって調べたところ、平滑筋腫という結果で最終的な病理診断でも同様な結果であった。播種性腹膜子宮筋腫症は稀な疾患ではあるが良性疾患に区分され、多数の平滑筋腫瘍が腹部のいろいろな臓器に転移するもので、生殖年齢の女性に主に認められる。大網切除術と両側の付属器摘出術が行われ、良好な術後経過が得られた。

Hide and seek: Surgeons discovered multiple omental tumors during a hysterectomy

Lilja Stefansson, Christine Isaacs, Sara Ivey, Ashley Carroll

Am J Obstet Gynecol.2014 Jan;210(1):89.e1

【文献番号】 g02100 (子宮筋腫)
